

人生いろいろまだ途中



今回は4階の廣兼 静枝様をご紹介します

廣兼静枝様は文武両道です!!

廣兼静枝様は島根県浜田市に95歳まで住んでおられ、7年前に広島に移られました。子供の頃から家の手伝いを沢山され、女学校の頃はお琴や舞踊を習い、陸上の選手として試合に出て活躍されていたそうです。19歳で結婚され40歳から俳句を始められ、朝日俳壇などへ投稿をされ数多く入賞・入選され、浜田市文化協会から文化功労賞の表彰も受けられました。50年続けられた頃、「吟行（ぎんこう）へ行くと周りに迷惑を掛ける」と、ご自分で俳句をやめられたそうです。広島に来られてからは、お嫁様が通っておられたフィットネスクラブと一緒にいくようになり、あかり苑に入居されるまで4年間に通われたそうです。100歳の誕生日の時にはスタッフの方や副社長も一緒にお祝いされ、フィットネスクラブの会報誌の表紙になり、特集記事に掲載されました。

100歳越えてもこんなにお元気な方がおられると「負けちゃおれん!」と元気が出そうですね!



19歳の頃舞踊の稽古



お嫁様と仲良くトレーニング



100歳の時、フィットネスクラブの会報誌に特集されました



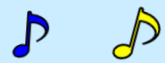
長年の俳句活動が表彰されました

特選

扱すべき秋草もなし壇の浦
廣兼 静枝



DR. CRAYON



あかり苑に若いエネルギーに溢れた歌声が響きました。3人組のアコースティックユニット『DR. CRAYON』。メンバーは、Vo. sorataさん、Vo. 三浦拳太さん、Gt. 塚本隆太さんのお三方。人を救うという意味の“Dr”自由を意味する“CRAYON”古き良きメロディと歌詞に、今の時代を生きる感性を合わせ、平成歌謡をテーマとして活躍されています。

この日も『上を向いて歩こう』等、誰もが知っている曲を数曲。そして素敵なオリジナルソングを披露していただき、皆様聴き入っておられました。

敬老会

2017. 9. 16



広島経済大学・空手道部による稽古披露では、気合いの入った大きな声・着地の音などに皆様大きな歓声をあげておられました。



日清医療食品の職員による氷・フルーツ細工では、道具で削るとしづきが上がり、完成後に披露されると「うわあ〜綺麗!」と感嘆されていました。



ムーンライトストーンズさんの演奏では、皆様ご存じの曲目が披露され、手拍子をして口ずさんでいらっしゃいました。



いつも
ありがとう



会の終わりに、記念品の贈呈をさせていただきました。